

新規作物等の試験栽培・省力営農の試行等

状況

島根県 奥出雲町 国営開発農地地区

地区概要: 農地面積292ha(うち耕作放棄地45.6ha)
 荒廃の理由: 担い手の高齢化、農業経営の低迷
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

取組概要

取組のきっかけ: 標高330~770mに位置する国営開発農地地区において、地力不足や排水不良等のほ場条件、担い手の高齢化、及び農業経営の低迷等により耕作放棄地が増大している。このたび耕作放棄地再生利用緊急対策を活用し、この地域の環境条件に適合し、収益性も見込まれる作物を実証する。当地区内には53の団地が点在しており、ほ場毎に条件が変わるため、7ほ場の実証ほを設置した。

調整経緯: 県普及部と上記の作物の選定をおこない担い手へ相談・決定し、所有者の理解を得る調整を行った。

取組主体: 奥出雲町耕作放棄地対策協議会 (栽培は農業者等)

作業内容: 雑草や樹木の刈り払い、整地、用排水整備、土壌改良、種苗購入等

今後の予定

収益性の分析をおこない、耕作希望農業者等と照会・調整をおこなう。

八川19

対象面積: 34.8a(畑)

実施期間: 再生作業:平成22年2月~平成22年3月

栽培実証:平成22年4月~平成25年3月

取組作物: ぶどう(品種:シャインマスカット)、大豆

実証状況: 長年使用されていなかった10aのハウスを補修、再整備し、ぶどうの植付、残りで大豆を栽培。

出荷先: シャインマスカットは3年目の収穫を予定。露地では現在大豆を栽培中。未定だが、高品質・需要性等を考慮し産直・JA等へ働きかけを行う。



再生作業前



露地の大豆



実証ほの看板



再生作業中(抜根)



ハウスの修繕



シャインマスカット

八川5-3

対象面積：34a(畑)
 実施期間：再生作業：平成21年10月～平成22年1月
 栽培実証：平成21年11月～平成23年3月
 取組作物：にんにく
 実証状況：再生作業を行いながら定植し、8月までに収穫・乾燥。9月から出荷。
 出荷先：県内市場、町内直売施設等



再生作業中(草刈)



にんにく定植



現状(収穫後)



実証ほの看板

馬木10

対象面積：132a(畑)
 実施期間：再生作業：平成21年12月～平成22年2月
 栽培実証：平成22年4月～平成23年3月
 取組作物：そばと小麦の輪作
 実証状況：そばから小麦への輪作を行う。現在そばを栽培中。
 出荷先：基本的にはJAへ出荷を予定。



再生作業前



再生作業中(整地)



再生作業後



そば栽培中

八川20

対象面積：136a(畑)
 実施期間：再生作業：平成22年2月～平成22年3月
 栽培実証：平成22年4月～平成23年3月
 取組作物：飼料作物(トウモロコシ、サツマイモ、カボチャ等)
 実証状況：自給飼料を主体とした特長ある豚の飼育を目指して飼料作物を栽培。
 出荷先：現耕作者の農業法人が飼育する豚の自給飼料



再生作業中(抜根)



再生作業後



トウモロコシ栽培中



看板と鳥獣害防護柵

馬木6

対象面積：52.6a(畑)
 実施期間：再生作業：平成22年2月～平成22年3月
 栽培実証：平成22年4月～平成23年3月
 取組作物：ハウレンソウ等の施設野菜
 実証状況：化学農薬、化学肥料を使用しない栽培方法を実践し、ほうれんそう、水菜等の軟弱野菜を栽培。
 出荷先：JAを通し、県推奨エコロジー農産物として県内市場に出荷。



ハウス設置



外観



ハウレンソウ栽培中



実証ほの看板

馬木12

対象面積：101a(畑)
 実施期間：再生作業：平成22年2月～平成22年2月
 栽培実証：平成22年4月～平成23年3月
 取組作物：ソバ
 実証状況：ブドウ用ハウスの基礎等が残っていた場所を再生。地域の特産物であるソバの栽培を実施。
 出荷先：直接そば店と交渉、契約栽培を行う予定。



再生作業前



再生作業中(整地)



再生作業後



そば栽培中

八川4

対象面積：82a(畑)
 実施期間：再生作業：平成22年2月～平成22年3月
 栽培実証：平成22年4月～平成23年3月
 取組作物：ソバ(採種用)
 実証状況：地域の在来品種である横田小ソバの採種ほ場として栽培を実施。
 出荷先：収穫した種子は、奥出雲町農業公社を介して地元の希望農家へ配布し、小ソバの作付面積の拡大を図る。



再生作業前



老朽ハウス撤去



再生作業後



そば栽培中